

1 図書館整備について

(1) 司書がいる建物の機能について

図書館を活用し、整備を求めてきた市民によって、図書館の整備について考える市民フォーラムが9月に開かれました。1994年の図書館整備基本計画も2002年の図書館整備実施計画もよく考えられている、と改めて評価する声が出されていました。

実施計画では、図書館の役割として

「あらゆる資料・情報の提供の窓口であるとともに、すべての市民の日常の生活にうるおいと豊かさをもたらす図書館」

と書いています。

司書については

「インターネットなどを利用できない人たちの求めに応じ必要な援助を行い」「図書館資料を一層活発に生かす働きも求められる」

としていて、レファレンス業務は

「十分に訓練を受けた専門職員によって行われる業務」

とされています。

建設に向けては、人口分布、交通の状況、既存の市立図書館の配置から、西部地区と東部地区での必要性が強調されています。フォーラムでは「計画をもう一度、検討しても同じ結論になるだろう」との声がありました。

図書館は司書がいて、市民への本の提供を考え、工夫するところです。

館に入ると入り口付近に時宜にかなった市民の関心に応える書籍の展示や館内のポップなどがあります。

インターネットはアルゴリズムで関連する情報を示してきます。図書館は、訪れたついでに意図しなかった分野の情報に触れられる機会になり、大きな意味があると考えます。

図書館の機能は司書がいればこそです。

そこで質問です。

ア 司書がいる図書館ならではの機能があります。市として充実させる方策をどう考えていますか。

イ 総選挙や兵庫知事選挙でインターネットとSNSによる情報の危うさが指摘されています。情報リテラシー教育の拠点として、確かな情報源として、情報の専門家がいる図書館の意義が高まっていると考えます。ご所見をお聞かせください。

ICTの利用促進は、今の図書館整備実施計画のままで可能です。

IT化で補えない図書館の役割を市民と議論すべきです。

ウ 現在の図書館整備実施計画でICT化、ネットの利活用を妨げている部分がありますか。現在の計画を生かしたまま進められるのではありませんか。

(2) 図書館用地と建物の配置について

図書館整備計画に基づいて、高屋公園の隣接地が東部地区図書館用地として購入されています。未利用地の管理として、お聞きします。

中区図書館用地は土を入れる費用が掛かってきました。

現在は幡多幼稚園の認定こども園化に向けての工事のための仮園舎の建設が行われています。

ア 中区の図書館用地について、取得費はいくらでしたか。土入れ等を加えて、これまでの総額はいくらになっていますか。

イ 仮園舎としての利用が済んだ後こそ、図書館建設を具体化できるような議論を進めるべきです。どのような図書館を建てるのか、今から市民との対話を始めることについて、ご所見をお示しくください。

ウ 物理的な距離は重要です。先に触れたフォーラムでも身近に欲しい、との声がありました。子どもたちや高齢者が自力で行ける図書館として、西部地区にも整備を具体化すべきではありませんか。

エ 市は、土地を買ってあるのに、中区の図書館建設を具体化しない理由に県立図書館との近接性を上げます。図書館整備実施計画の改定は2002年です。県立図書館は1998年に現在の位置が決定されました。市は、県立図書館の構想を考慮せずに計画を策定したのですか。

オ 2014年の図書館の在り方については、県立図書館との役割の違いを明記しています。その点からも近接性は中区に建てない理由になりません。ご所見をお示しくください。

カ 市は、図書館整備が進まない理由に公共施設マネジメントの公共施設の総量抑制を上げます。一方で新たにアリーナを作ろうとしています。矛盾していませんか。

2 1万人アリーナ建設について

(1) 公費での建設と運営の採算性について

11月20日に第3回アリーナ整備検討会議が開かれました。

- ・イベントプロモーターへのヒアリング結果について
- ・最適規模の考え方について
- ・アリーナ整備に関するアンケート（中間報告）について

が議題でした。

アリーナ整備への期待度についての設問では

- ・期待する 44%
- ・どちらかといえば期待する 19%
- ・どちらかといえば期待しない 5%
- ・期待しない 24%

でした。

検討会議は新アリーナの建設を前提としたものです。

アンケートもアリーナ整備を前提として、巨額の費用や民間がエンタメに使う施設への税金投入の是非などの問題を聞く内容ではありません。

そのアンケートで「期待しない」が合計で29%です。

会議出席者の発言の多くが「期待しない」の割合に触れていました。気になるわけです。期待しなかったり反対したりする人からは採算性への疑問が聞かれます。重要な論点です。

検討会議では、5,000席では採算が取れないとして、コンサート時に7,000から8,000席、最大1万人収容の規模を検討することになりました。5,000席で145億円から費用の増加は必至です。

そこで質問です。

ア 無作為抽出ではない、ネットのみのアンケートは市民全体での期待する人の割合を示していると考えますか。

イ アンケート終了後には、記述を含めて全ての回答を公表すべきだと考えますが、どう扱うのか考えをお示しくください。

ウ アリーナ建設を前提にしたアンケートに表れる、疑問や異論をどう受け止めていま

すか。

エ 2023年に全国で5,000人規模、8,000人規模、10,000人規模のコンサートはそれぞれ何件でしたか。中四国と近畿圏では何件で、どこで開催されましたか。

オ 岡山市に会場があったとして、何人規模のコンサートを何件、どのように誘致しますか。

カ コンサートやプロの試合といったエンタメのために新アリーナの規模を大幅に拡大させることについて、市民にどのように説明しますか。市が税金で作るべき施設ではないと考えます。

キ 建設費の増加について、青天井で認めるのですか。「これ以上になるなら取りやめる」という基準を設けることについて、ご所見をお示してください。

ク 新アリーナの規模拡大をする前に、岡山ドームや六番川体育館にエアコンをつけるなり、ジップアリーナの改修を県と協議するなり、既存施設の活用を検討しませんか。

ケ 市経済界に対して市から拠出額に条件を付けて、集まらなければやめるべきではありませんか。言い出しっぺの本気度が見えません。

(2) 周辺への影響について

これまでの議会や委員会で交通アクセスも議論があり、JRをはじめとする交通事業者と協議する、という答弁がありました。

ア どの様な協議が行われていますか。

イ 1万人規模にするとなると、JRやバスの乗降客見込みが変わってくるのではありませんか。規模を決めてから交通事業者と協議をするのか、安全にスムーズに移動できる乗降客数を協議して、アリーナの規模を決める要素にするのか、どのように考えていますか。

ウ アリーナ本体が大きくなると、シャトルバスや臨時バスの発着場所も大きくする必要がありませんか。敷地が限られる中、どこまで検討しているのですか。

自家用車で来る人の想定も必要です。

エ 他の1万人規模のアリーナは周辺の駐車場台数が何台くらいですか。北長瀬での確保台数の見込みはどれだけですか。

(3) 市の体制について

市は2025年度にスポーツ文化局を発足させて、スポーツ振興課にアリーナ整備推進室を作る方針です。

そこで質問です。

ア 市の考え方では、新しいアリーナは市民の体育施設ではありません。外来者の誘致やMICE関連で産業観光局の所管になるのではありませんか。位置づけが変わってきた矛盾があるように思います。なぜ、この機構なのですか。